

第44回九都県市合同防災訓練訓練概要

訓練目的	<p>令和5年度の「横浜市総合防災訓練」は港北区を会場として、市民・地域・企業その他関係団体等が一体となった実践的な実動訓練、防災関連団体による展示・体験型エリアを設置しての防災啓発等を実施します。</p> <p>各機関との連携をより強固なものとするとともに、市民の減災意識の高揚と、地域防災力・災害対応能力の向上を図ることを目的としています。</p>
日時	<p>令和5年8月27日（日）</p> <p>実動訓練 9：15～11：10</p> <p>展示・体験エリア 9：00～12：00</p>
会場	新横浜公園（日産スタジアム）第一駐車場
規模	参加機関（団体）：約60機関 参加人員：約2,000名（見学者含む）
想定	<p>令和5年8月27日（日）午前10時00分、相模湾を震源とするマグニチュード8.1、横浜市内最大震度7の地震を観測。</p> <p>家屋の倒壊や道路損壊、ライフライン等に甚大な被害が確認され、火災及び多数の負傷者が発生していることを想定します。</p>
訓練項目	<ol style="list-style-type: none"> 1 シェイクアウト訓練 2 住民等による避難・救出救護訓練 3 初期消火訓練 4 被災状況の情報収集、緊急交通路確保訓練 5 道路啓開訓練 6 ライフライン復旧訓練 7 救援物資輸送訓練 8 情報収集伝達訓練 9 救出部隊による捜索・救助訓練 10 医療救護訓練 11 火災防御訓練
訓練の特徴	<ol style="list-style-type: none"> 1 市民参加型の訓練 訓練参加者には、発災から避難、近隣住民への声掛け、負傷者に対する応急救護、初期消火訓練など訓練を通じて体験していただきます。 展示・体験エリアでは、起震車による地震体験や煙体験ハウス、水災害体験ブースなどの災害模擬体験、防災関係機関による啓発ブースをご覧ください。 2 自助・共助の取り組み強化を目的とした防災啓発 災害に対する正しい知識や自主防災意識の向上を図るとともに、「自分の命は自分で守る」「災害弱者は地域で守る」という意識の醸成に努めます。 3 新型コロナウイルス感染症対策 感染拡大予防の観点から、訓練参加者・観覧者の手洗いや三密の回避、場面に応じたマスクの着用など基本的感染防止対策を行います。
問合せ先	問合せ先：横浜市総務局緊急対策課 電話：045-671-2064

横浜市総合防災訓練会場案内図

